新刊『光と量子の不思議な世界ー「シュレディンガーの猫」の実験で旅立つたれ耳うさぎミルの冒険』2022年10月16日発売

この度、玄武書房は、新刊『光と量子の不思議な世界ー「シュレディンガーの猫」の実験で旅立つたれ耳うさぎミルの冒険』を2022年10月16日 に発売しました。
光と量子の摩訶不思議な世界をストーリー仕立てで分かりやすく解説しながら、その謎と本質に迫る一冊です。

さあ、光と量子の不思議な世界へ旅立とう！
Amazon：

https://www.amazon.co.jp/dp/4909566716/

■書籍タイトル
光と量子の不思議な世界ー「シュレディンガーの猫」の実験で旅立つたれ耳うさぎミルの冒険
著者：柳久雄
2022年10月16日 、全国販売開始
＜本文と画像＞

https://genbu-shobo.com/pr20221016/

■『光と量子の不思議な世界ー「シュレディンガーの猫」の実験で旅立つたれ耳うさぎミルの冒険』について

2022年のノーベル物理学賞において「量子もつれ」という現象の存在を証明した米欧研究者3人が『量子情報科学』の発展に大きく寄与したと評価された。

世界的に研究が進んでいる「量子コンピュータ」や「量子テレポーテーション」だが、量子の一つである『光』は科学技術の鍵となる存在である。

光とは何か？量子とは何か？

この謎には、多くの研究者が生涯をかけて挑みたくなるほどの魅力がある。
本書では、初心者でも分かりやすくストーリー仕立てで分かりやすく解説していく。

光と量子の専門家“鹿次郎博士”に出会った“ミル”は「シュレディンガーの猫」の実験に誘われた。
実験を前にして、何も知らないミルに、博士が「光」や「量子」について詳しく説明していく。

博士は「光の波と粒」「光の色と強さ」「原子と分子」などの難しい内容も身近な分かりやすい例をあげて教えていく。
さらに、実際に行われた偉人たちの実験から「量子」の不思議な性質も見えてくる。

しかし、ミルが挑んだ実験で思いがけないトラブル（ミス）が発生してしまう。
突然に「光と量子の不思議な世界」へ旅立つことになってしまったミルには“どのような世界”が見えるのだろう。

【目次】

第１章　「光」と「量子」ってなんだろう？
（１）光の波と光の粒
（２）光の色と強さ、人間が見ている光
（３）原子、分子の中の電子

第２章　「量子」の不思議な実験
（１）「シュレディンガーの猫」の実験
（２）ヤングの二重スリットの実験
（３）分子を用いた二重スリットの実験
（４）ヤヌア・シーのゴースト像実験

第３章　「光」と「量子」の世界
（１）時間と空間
（２）重ね合わせと絡み合い
（３）量子コンピュータ

■著者：柳久雄
1980年神戸大学工学部卒業、1982年同大学院修士課程（工業化学専攻）修了。日本新薬株式会社

研究員を経て、1988年神戸大学大学院博士課程(物質科学専攻)修了。1989年から神戸大学工学部応用化学科助手、助教授を経て、2006年から奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科(現先端科学技術研究科物質創成科学領域)教授となり現在に至る。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com